

産衛だより

平成 24 年度第 4 回専門医制度委員会議事録

日 時：平成 24 年 11 月 24 日（土）11：00～13：00

場 所：東京工科大学蒲田キャンパス 3 号館 10F 31015 講義室

出席者：委員 東 敏昭（委員長）、石竹達也、宮川路子、
宮下和久、山田裕一、森 晃爾（事務局）

顧問 大久保利晃、山田誠二

オブザーバー 昇 淳一郎（担当理事）、大久保靖司
（専門医制度機構窓口担当）、大神 明（事務局）

I. 報告事項

1. 委員長預かり分の指導医の認定について

1 名について書類不足により認定保留であったが、学会活動など問題ないことを確認したあと認定された事が報告された。11 月 1 日現在で指導医登録 296 名となった。

2. 専門医・研修医登録状況について

森事務局より 11 月 1 日現在での登録状況について報告があった。11 月 1 日現在で 195 名の登録があった。

専攻医試験合格者に対し研修医登録を促すため合格証に有効期限を決め、その旨を通知することが了承された。有効期限（合格証）は合格証発行後半年ぐらいとする。第 1 回試験の合格者については来年 1 月末までに登録しないと無効になる旨を通知する。

3. 研修施設および研修協力施設の認定について

森事務局より委員長判断で新たに認定された施設の報告があった。現在までに、サービス提供型（64 箇所）教育情報型（20 箇所）研修協力型（5 箇所）が認定されている。

4. 第 3 回・第 4 回専攻医資格認定試験について

第 3 回専攻医資格認定試験は、平成 25 年 5 月 18 日に第 86 回日本産業衛生学会総会会場（松山市）にて、第 4 回専攻医資格認定試験は平成 25 年 6 月 22 日東京会場（法政大学）にて、それぞれ当日の午後に行うことが報告された。

5. 理事会報告

理事会からの報告事項は特になし。

6. その他

事務局から特に報告事項はなし。

II. 審議事項

1. 専門医資格更新の可否について

3 名の審査を行い、専門医資格のまま承認された。

2. 指導医資格の可否について

4 名の申請者に対して審査を行い、審議の結果全員合格とした。この結果指導医名簿登録者は 300 名となった。

3. 指導医資格更新の可否について

更新対象 15 名について審議。2 名が更新を辞退。13 名の資格更新を承認した。

経過措置による指導医対象 4 名のうち 3 名が更新を辞退。1

名について審議し、指導実績にて承認された。

4. 専門医制度規則の改正について

すでに理事会で承認を得ているサービス機関で産業医業務をしている方を対象に特別措置の指導医資格を与える件に加え、指導医の受審資格として「学会員として、別に定める学会活動を行っていること」を追加することが審議の上承認された。

5. 専攻医向け研修会および図書指定について

研修手帳の指導計画の中で、実務研修の要件となる研修会について、産業医科大学「産業医学実践研修」などを指定し、すでに指定されている OHAS に加えて、日本医師会、産業医学振興財団、産業医大等 7 つ程度を指定することを想定しながら、今後そのような要件を満たす研修会があれば委員会の中で認定していく事を確認した。ホームページなどで指定に関する情報を公開することが承認された。

専攻医試験の問題に関する問い合わせについては、合格基準採点点数についての情報は、合格基準は 7 割程度として最低点は公開しないことが確認された。

6. 平成 25 年度の専攻医試験の場所および時期について

第 3 回：日本産業衛生学会（松山市）5 月 18 日（土曜日）に行い、受験申請は 4 月 12 日（金曜日）を締め切りとすることが決定された。

第 4 回：東京（法政大学：6 月 22 日）

第 5 回：名古屋（秋の全国協議会開催最終日の午後）9 月 28 日土曜日

以上のように来年のみ年 3 回実施する事が確認された。

7. 専攻医試験の広報について

第 2 回専攻医認定試験受験者に対するアンケート調査の結果をもって受験に対する動向は解析し、パンフレット・研修会・医師会講習会における効果的な広報を行っていく事を確認した。

8. 専門医認定制機構への対応等について

東委員長よりこの制度を維持していくために、臨床研修から 3-4 年間で申請可能にし、出来れば基本領域に設定されるよう、国への要望書を出すことが提案された。

9. 手数料の検討、事務局費用について

東委員長より施設認定について認定証作成に実費がかかる件が提案され、議論の結果 3000 円を認定料として徴収することとなった。（来年 4 月より）

10. その他

(1) 次々回委員会開催日について

今回は 1 月 12 日土曜日 13：00～16：30 東京八重洲ホールにて開催。

次々回は 5 月の愛媛県松山市での産業衛生学会時。

(2) その他

第 2 回の専攻医試験は平成 24 年 11 月 24 日東京工科大学蒲田キャンパス 3 号館にて開催された。28 名受験申請あり、26 名が受験した。専攻医試験部会採点の結果、23 名を合格とし、3 名が不合格と判定された。専門医制度委員会にて承認された。

東委員長より専門医制度委員会 委員交代案の提示あり。

平成 25 年 1 月 9 日

理事候補者選挙結果のお知らせ

中央選挙管理委員会
委員長 柳澤裕之

社団法人日本産業衛生学会定款および役員選出規程に則る理事候補者選挙が各地方会にて行われた結果、平成 25 年度～26 年度任期の理事候補者および地方会長については以下になりましたので選挙管理委員会に関する細則第 5 条によりご報告致します。またこの結果を役員選出規程に則り理事長に平成 25 年 1 月 8 日付けで報告いたしました。

なお、このお知らせは平成 25 年 1 月 9 日付けにて学会ホームページに公開されます。

理事候補者 (計 30 名)

五十嵐千代	圓藤吟史	大久保靖司	大前和幸
萩野景規	加藤 元	川上憲人	岸 玲子
久保田昌詞	車谷典男	五味秀穂	斉藤政彦
柴田英治	菅沼成文	菅原 保	住徳松子
諏訪園靖	笠島 茂	谷川 武	角田 透
中川秀昭	野見山哲生	原田規章	東 敏昭
堀江正知	宮本俊明	村田勝敬	柳澤裕之
山田誠二	吉田貴彦		(五十音順)

次期地方会長

北海道地方会	吉田貴彦
東北地方会	村田勝敬
関東地方会	柳澤裕之
北陸甲信越地方会	中川秀昭
東海地方会	柴田英治
近畿地方会	車谷典男
中国地方会	原田規章
四国地方会	菅沼成文
九州地方会	加藤貴彦

平成 25 年 1 月 15 日

理事長候補者および監事候補者選挙のお知らせ

中央選挙管理委員会
委員長 柳澤 裕之

(社)日本産業衛生学会役員選出規程に則り理事長候補者および監事候補者の選挙を行います。このお知らせは平成 25 年 1 月 15 日付けにてホームページに公開されます。

1. 理事長候補者の選出

選挙人	代議員
被選挙人	理事候補者で代議員 3 名の推薦を受け承諾した者
立候補受付期間	平成 25 年 1 月 17 日～平成 25 年 1 月 31 日
選挙公報	所定の様式に従った被選挙人の作成による選挙公報原稿の写しを選挙人に郵送。公開期間中は学会ホームページ上にも公開
公報公開期間	平成 25 年 2 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日
郵送投票期間	平成 25 年 2 月 15 日～平成 25 年 2 月 28 日 (必着)

2. 監事候補者の選出

選挙人	代議員
被選挙人	理事候補者以外の者で代議員 3 名の推薦を受け承諾した者
立候補受付期間	平成 25 年 1 月 17 日～平成 25 年 1 月 31 日
選挙公報	所定の様式に従った被選挙人の作成による選挙公報原稿の写しを選挙人に郵送。公開期間中は学会ホームページ上にも公開
公報公開期間	平成 25 年 2 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日
郵送投票期間	平成 25 年 2 月 15 日～平成 25 年 2 月 28 日 (必着)

3. 理事長候補者および監事候補者への被選挙人登録手続き

理事長候補者もしくは監事候補者として被選挙人となる者は以下の手順に従って被選挙人登録手続きを進めて下さい。

- 1) それぞれ「理事長候補者推薦書 (ホームページよりダウンロードできます)」または「監事候補者推薦書 (ホームページよりダウンロードできます)」を完成させ、立候補受付期間中 (平成 25 年 1 月 17 日～平成 25 年 1 月 31 日) に学会事務局まで FAX にて送付すること。また原本を学会事務局まで郵送すること。

日本産業衛生学会事務局：

FAX：03-5362-3746

住所：〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8

公衆衛生協会ビル 4F 日本産業衛生学会内

中央選挙管理委員会 宛

- 2) 選挙公報を作成し、立候補受付期間中 (平成 25 年 1 月 17 日～平成 25 年 1 月 31 日) に中央選挙管理委員会まで eメールの添付ファイル (ワード) として送付すること。

メールアドレス：hryanagisawa@jikei.ac.jp

(中央選挙管理委員長 柳澤 裕之宛)

送付された公報原稿は中央選挙管理委員会にて確認の上、選挙公報として選挙人に郵送され、また HP 上に公開されます。選挙公報の様式は次の「選挙公報原稿の様式」の (1) から (5) に従って下さい。

[選挙公報原稿の様式 (理事長候補者および監事候補者とも同一)]

- (1) 紙面の大きさ：A4 判 1 枚片面

紙面のレイアウトは自由、ただし次の①から⑥については必ず記載のこと

- ①氏名 (ふりがな)
- ②生年月日 (西暦)
- ③最終学歴

- ④現職
 - ⑤日本産業衛生学会会員歴
 - ⑥所信（字数制限なし）
- (2) 文字フォント：10ポイント以上であること（字体は自由）
 - (3) 写真を入れてもよい
 - (4) 文中に個人のホームページ等の URL を記載してもよい
 - (5) 文中に「推薦者」の氏名を記載してはいけない

4. 投票について（郵送による投票）

選挙人には郵送にて理事長候補者及び監事候補者選挙投票用紙が送付されますので、郵送投票期間中（平成 25 年 2 月 15 日～平成 25 年 2 月 28 日（必着））に投票してください。

<ご参考>役員選出規程（抜粋）

（理事長候補者の選出及び理事長の選任）

第 6 条 理事長候補者は、理事候補者で、代議員 3 名による推薦を受け、本人の承諾を得た者のなかから、代議員の無記名投票によって選出する。

2 理事長は、理事長候補者から総会において選任する。

（監事候補者の選出及び監事の選任）

第 7 条 監事候補者は、理事候補者以外の者から代議員 3 名による推薦を受け、本人の承諾を得た者のなかから、代議員の無記名投票によって選出する。

2 監事は、監事候補者から総会において選任する。

平成 24 年度新入会者

[北海道] 池川敦子, 沖野雄一郎, 佐藤利夫 [岩手] 岩崎茂則
 [山形] 安藤栄吾 [茨城] 菅野美貴, 田代廣隆, 門間貴史 [埼玉]
 大野洋一, 嶋田 清, 与謝野秋成 [千葉] 小川博章, 興梠昭子
 [東京] 今城祥子, 大島晴輝, 岡田結生子, 岸田信也, 熊谷百合子,
 桑原恵介, 佐藤直美, 関 啓介, 内藤孝一, 西山 暁,
 福井 瞳, 藤原幸子, 宮本 一, 山本千鶴, 渡邊好文 [神奈川]
 安達由実子, 大西 誠, 加藤博久, 佐藤光弘, 柴田延幸, 田邊彩子,
 玉山美紀子, 時澤 健, 野間 香, 長谷川卓弥, 畠山知華,
 古田名保恵, 増利 舞, 松本理佐, 山根由貴子 [新潟] 磯部直子,
 大山奈緒美, 丸山明則 [福井] 小林麻美 [長野] 田切幸美,
 田口勇次郎, 塚田昌大 [静岡] 小山奈緒美, 水田 潔,
 望月幸子 [愛知] 大森美保, 匹田雅之 [三重] 清野由美子 [大阪]
 衣斐義高, 永田庸子, 林 毅, 八木みはる [兵庫] 木村久実,
 山本千代 [和歌山] 水主貴子, 高野 玲 [鳥根] 島田美幸 [広島]
 長井敏弘, 藤井友里加 [福岡] 小川有希子, Nguyen Thi To Uyen [熊本]
 小田政子 [宮崎] 日高一浩

第 86 回日本産業衛生学会 (第 6 報)

第 86 回日本産業衛生学会 企画運営委員長 谷川 武

会期を 5 月 14 日 (火) ~ 17 日 (金) に変更いたしました。その他、第 86 回日本産業衛生学会に関するプログラムの詳細および学会運営等に関する事項は、学会ホームページ (<http://jsoh86.umin.jp/>) に順次掲載いたします。定期的な確認を宜しくお願いいたします。

今回は CD-ROM 版講演集の刊行は予定しておりません。また、ポケットプログラムについても学会会場にてお渡しいたしますのでご了承ください。

1. 会 期：学 会 平成 25 年 5 月 14 日 (火) ~ 17 日 (金)
特別研修会 平成 25 年 5 月 18 日 (土)

2. 会 場：ひめぎんホール (愛媛県民文化会館)
愛媛県松山市道後町 2-5-1

3. 企画運営委員長：谷川 武
(愛媛大学大学院医学系研究科教授)

4. メインテーマ：産業保健における可能性の追求

5. 企画概要 ※演題名、演者とも変更の可能性があります
特別講演：

- ・ “Contribution of sleep medicine on the occupational health: from NASA to Boston Celtics” 「産業衛生における睡眠医学の貢献：NASA からボストンセルティックスまで」 Charles A. Czeisler (ハーバード大学医学部睡眠医学講座 教授)
- ・ 「社会の中の、社会のための知識・技術・転換期における専門家・実務家の役割と責任」 有本建男 (科学技術振興機構・社会技術研究開発センター長・政策研究大学院大学教授)

教育講演：

- ・ “Importance of health care for rescue and recovery workers of the Great East Japan Earthquake from the aspect of occupational health” 「東日本大震災救援者の長期健康管理の重要性」 Michael Crane (マウントサイナイ医科大学准教授)
- ・ “Obstructive Sleep Apnea in North American Commercial Drivers: Effects on Crash Risk; Screening Strategies; and Benefits of Driver Treatment” 「北米トラック運転手における睡眠時無呼吸症候群：事故への影響、スクリーニング戦略、運転者への治療の有益性」 Stefanos Kales (ハーバード大学医学部環境医学講座准教授)
- ・ 「日本の産業保健の光と影—世界の社会医学の起源と発展史から」 荒記俊一 (東京大学名誉教授)
- ・ 「Happy People Live Longer—幸せな人は長生きする—」 坪田一男 (慶應大学医学部教授) 他
- ・ 「産業保健における可能性の追求」 谷川 武 (愛媛大学大学院医学系研究科教授)

メインシンポジウム：

- ・ 「産業保健における可能性の追求—「坂の上の雲」シンポー—」シンポジウム等
- ・ 「東京電力福島第一原発事故における原発従事者の労働安全と健康」
(演者として福島第二原発産業医 露木 晃先生や看護師 山本智子先生を予定)
- ・ 「産業衛生分野における若手研究者の先進的・萌芽的な取り組みについて」
- ・ 「職場における睡眠問題」
- ・ 「特定健診・特定保健指導：産業保健と地域保健の連携」
- ・ 「職場のメンタルヘルスのグランドデザインを考える」

- ・ 「エビデンスに基づく産業栄養の実現に向けて」
- ・ 「大学・研究機関における研究活動と安全衛生管理のあり方」
- ・ 「がんになっても、働き続けるために」
- ・ 「事業場内産業保健スタッフ等と他職種との協働を考える」
- ・ 「産業保健分野における健康会計—企業内の健康情報を活用した社会との対話—」
- ・ 「『これからの健康科学』—産業保健におけるエイジマネジメントストラテジー—」
- ・ 「胆管がん—新しい職業がんの発見」
- ・ 「職場のメンタルヘルスの第一次予防支援による健康推進」
- ・ 「遺伝子情報の産業保健への応用—健康管理に遺伝子情報は活用できるのか—」

その他、一般演題 (ポスターおよび口演)、総会、各種の部会・委員会、学会奨励賞受賞講演、研究会、ランチョンセミナー、企業展示、書籍展示なども予定しています。

6. 参加登録

学会参加費、出題費、懇親会費ならびに特別研修会参加費の事前登録 (お支払い) については、54 巻 5 号に綴じ込みの「払込取扱票」をご利用ください。払込取扱票は、1 人 1 枚の使用に限りです。

なお、本票の追加につきましては、学会ホームページより追加ご請求ください。原則として登録後の返金はいたしませんので、ご注意ください。

①学会参加費

事前登録は平成 25 年 2 月 22 日 (金) までとします。

※ただし、筆頭発表者は演題採否の通知後 10 日以内にお支払いいただく場合は、事前登録の金額で扱います。

事前登録をされた方には、締切後に参加票を郵送いたします (4 月下旬予定)。

■学会員

事前登録：8,000 円

(締切：平成 25 年 2 月 22 日 (金) まで (筆頭発表者の方は上記①※参照))

当日登録：10,000 円

(事前登録の締切以降は当日受付でお支払いください)

■非学会員

事前登録：9,000 円

当日登録：10,000 円

■学生・大学院生

8,000 円

※学生・大学院生の事前登録者は「払込取扱票」に所属長の署名捺印を忘れないようにしてください。不備がある場合、学生・大学院生として取り扱うことはできません。また、学生・大学院生の当日登録は行いません。また、学生証を確認する場合もございますので、持参していただきますようお願い致します。

②出題費

1 題につき 2,000 円

筆頭発表者は必ず学会参加費とともに演題採否の通知後 10 日以内にお支払いください。

③特別研修会（日時、会場、受講資格、受講料（事前支払））詳細については学会ホームページまたは本号に掲載する特別研修会のご案内（第2報）を御覧ください。

7. 演題申込および抄録原稿受付

一般演題の申込および抄録原稿の受付は終了いたしました。多数のお申込をいただき、ありがとうございました。なお、その採択につきましては、筆頭発表演者にメールにてお知らせいたします。発表形式がご希望と異なる場合もありますが、ご容赦ください。採択された全演題のうち、プログラム委員会により口演が適当と評価された演題は、口演発表していただきます。採否および発表形式は、平成 25 年 2 月中旬に通知いたします。演題採択につきましては、学会プログラム委員会にご一願います。なお、本年度は、採択されたポスター発表の中から、「優秀ポスター賞」を選出し、学会当日、受賞者の発表並びに表彰を予定しております。

8. 発表方法（一般演題）

【ポスター発表】

ポスター展示スペースは、1 演題につき、横 90 cm × 縦 170 cm です。左上部の横 20 cm × 縦 20 cm の部分には事務局で演題番号を貼り付けます。右上部（横 70 cm × 縦 20 cm）にタイトル、所属および演者名を、その下に本文を提示してください。

【口演発表】

- ①口演発表の時間は口演 10 分、討論（質疑応答）5 分です。
- ②パワーポイントによる PC 発表のみ可能です（OHP、スライドは不可）。パワーポイントは Windows 版の Microsoft PowerPoint 2003 以上で作成してください。Mac で作成したデータは受け付けられません。
- ③PC によるプレゼンテーションは演台にセットされているモニター、キーボード、マウスを使用し、演者ご自身による操作をお願いします。
- ④発表データの受付方法については、学会ホームページにてご確認ください。

9. 懇親会

日時：平成 25 年 5 月 16 日（木）18 時 30 分より（予定）
 会場：松山全日空ホテル（<http://www.anahotelmatsuyama.com/>）
 〒790-8520 愛媛県松山市一番町 3-2-1
 TEL：089-933-5511
 懇親会費（会員・非会員共通）
 事前登録：9,000 円

当日登録：10,000 円

学生・大学院生：8,000 円

※学生・大学院生の当日登録は行いませんので事前に登録してください。また、学生証を確認する場合もごさいますので、持参していただきますようお願い致します。

10. 研修単位の認定

特別研修会以外に、シンポジウムや講演に対して、日本医師会認定産業医制度による単位認定や、日本医師会、日本歯科医師会の生涯学習制度による単位認定を申請予定です。日本産業衛生学会産業看護師：産業看護職継続教育システム・実力アップコースの単位認定を申請予定です。

11. 委員会、研究会等の申込

委員会、研究会等の申込期間は終了いたしました。学会プログラム委員会でも日時・部屋割の調整をいたしますが、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

12. 今後のスケジュール概要

広告申込締切：平成 25 年 2 月 15 日（金）
 機器展示・書籍展示申込締切：平成 25 年 2 月 15 日（金）
 学会参加・懇親会・特別研修会事前登録締切：
 平成 25 年 2 月 22 日（金）

*詳細は、今後学会ホームページ等でも順次公開していきます。

13. 宿泊

宿泊申込方法については、学会ホームページに掲載いたします。宿泊を希望される方は、ホームページにて詳細をご確認ください。

14. 連絡先

①本部事務局
 〒791-0295 愛媛県東温市志津川
 愛媛大学大学院医学系研究科 公衆衛生・健康医学分野内
 第 86 回日本産業衛生学会 事務局
 TEL：089-960-5283 FAX：089-960-5284
 E-mail：sanei86@m.ehime-u.ac.jp

②登録事務局
 〒530-0001 大阪市北区梅田 3 丁目 3-10
 梅田ダイビル 4 階
 株式会社 JTB コミュニケーションズ
 コンベンション事業局内
 第 86 回日本産業衛生学会 登録事務局
 (担当：追・吉永)
 TEL：06-6348-1391 FAX：06-6456-4105
 E-mail：jsoh86@jtbcom.co.jp

第 86 回日本産業衛生学会・特別研修会のご案内 (第 2 報)

日本産業衛生学会特別研修会

1. 日 時：平成 25 年 5 月 18 日 (土) 9:00 ~ 16:45 (予定)
2. 会 場：ひめぎんホール (愛媛県県民文化会館) 愛媛県松山市道後町 2-5-1
3. 研修単位の認定
日本医師会認定産業医制度生涯研修の実地ならびに専門の単位申請中
日本産業衛生学会産業看護師：産業看護職継続教育システム・実力アップコース申請予定

4. メインテーマ 1：じん肺読影について

- 1) 職業性呼吸器病の画像診断 (グループワークを含む)

菅沼成文 高知大学医学部環境医学教授

- 2) じん肺胸部エックス線モニター読影実習

日下幸則 福井大学医学部環境保健学教授,

田村太朗 福井大学医学部環境保健学助教

じん肺の産業医学的管理と臨床診断には、胸部単純エックス線や CT 等の画像診断が不可欠である。ILO 国際じん肺分類では、標準写真を基準に再現性を担保した半定量的重症度分類が用いられ、この考え方を踏襲して厚生労働省のじん肺エックス線分類が作られ、現在まで、我が国のじん肺診断に用いられている。こうした背景を含めて、米国 NIOSH B reader 資格を有する専門家らにより、「職業性呼吸器病の画像診断」では画像診断の解説とグループ討議を、「じん肺胸部エックス線モニター読影実習」では、米国放射線医学会 (ACR) の Felson 教授によって始められた双方向方式の胸部エックス線画像の読影実習を実施し、日本じん肺分類に基づいて、粉じん作業者のモニター胸部画像の読影、記録を学ぶ。本講習会を通して、複数のエキスパートの読影結果と比較することで、日本標準写真に馴染みを覚え、1 型のじん肺をはっきりと認識できるところを到達目標とする。

メインテーマ 2：根拠に基づくメンタルヘルスの一次予防

- 1) セルフケア研修 島津明人 東京大学大学院精神保健学准教授

- 2) 管理監督者研修 堤 明純 北里大学医学部公衆衛生学教授

- 3) 職場環境改善 吉川 徹 公益財団法人労働科学研究所副所長

※演題名、演者とも変更の可能性があります

5. 受講料：事前支払

- 日本医師会認定産業医制度産業医研修単位を必要とする学会員

事前登録：8,000 円, 当日登録：10,000 円

- 非学会員：10,000 円 (事前・当日共)

- 認定産業医の単位が不要の方：7,000 円

原則として、登録後の返金はいたしませんので、ご注意ください。また、平成 25 年 2 月 22 日 (金) を持って郵便振替は終了いたします。

参加申込：産業衛生学雑誌 (第 54 巻 5 号 9 月号) に綴じ込みの払込取扱票でお支払い下さい (払込取扱票は 1 人 1 枚の使用に限ります)。

なお、本票の追加につきましては、学会ホームページより追加ご請求ください。また、実地研修に使用する機器の台数の都合上、定員を設けて実施いたします。先着順にご案内いたします。定員を超えた場合はお断りさせていただきますのでご了承ください。詳細および申し込み状況等に関する事項は、学会ホームページ (<http://jsoh86.umin.jp/>) に順次掲載いたします。定期的な確認を宜しくお願いいたします。申込の際不明な点がございましたら登録事務局 (JTB コミュニケーションズ：TEL：06-6348-1391, FAX：06-6456-4105, E-mail：jsoh86@jtbcom.co.jp) へご連絡ください。

平成 25 年 2 月 22 日 (金) までに申し込まれた方には、事前登録の締切後に参加票を郵送 (4 月下旬予定) いたします。

7. 事前登録の申込締切：平成 25 年 2 月 22 日 (金)

上記締切以降の申込および当日登録のお問い合わせは、登録事務局 (JTB コミュニケーションズ) へお願いいたします。